

(令和6)年度

児童館事業年間活動報告書

(京都市百々)児童館

	活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成 果 と 課 題
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
子 ど も 育 成 機 能	(1) 工作デー	2	0	2	25	1	0	0	0	0	0	4	0	32	夏休み期間中に申込制でプラ板工作を実施。 子どもたちは集中して取り組めた。じどうかんだよりで募集を募ったが、参加者の半分は学童クラブの子どもだった。来年度、地域の子どもたちに早めに周知し、広報などの工夫で自由来館に繋げたい
	(2) エコ活動	12	1	4	115	1	9	0	1	0	2	0	133	環境問題を意識し、自分たちができるエコ活動をする。日常ではおやつ袋の分別、裏紙の利用、エコキャブの回収 工作や公園清掃などを通して子どもたちにエコの意識を高めることができた。今後もエコに関心を持てるようにしたい。	
	(3) 避難訓練	12	0	2	147	2	15	0	5	0	0	0	166	児童館で火災、地震、台風に遭遇した時の避難の仕方を学ぶ。公園・中庭・2階の遊戯室を避難場所とした。その他、子どもたちが紙芝居を読み、全体で確認することができた。月1回することで、少しずつではあるが、避難の仕方がわかってきていた。防犯については山科警察署の方に来ていただいたことで、子どもたちにも緊張感があり、同時に職員スムーズに動いていた。	
	(3) 子ども交通安全教室	1	0	0	53	0	8	0	2	0	0	0	63	山科警察署交通課の方から道路標識や横断歩道の渡り方など、絵や映像を観て学ぶことができた。子どもたちからの意見も聞きながらみんなで一緒に考えることができた。	
	(3) 防犯教室・訓練	1	2	2	35	0	5	0	1	0	0	3	48	職員は玄関で不審者の対応と110番の仕方、護身術の実技訓練をした。どの職員もできるように今後は順番に取り組みたい。子ども対応は、防犯ベルを時々点検することなどを学んだ。不審者の声が聞こえていたので緊張感があり真剣に取り組めた。	
	(3) こどもまつり実行委員会	6	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	5	こどもまつりのコーナー企画と準備物の作成および、当日の司会進行、コーナーの準備と運営、後片付けをする。 当日の司会は緊張しながら進めることができた。地域の方や保護者と協力しながら遊びコーナーやお店コーナーの運営ができ、喜びや自信に繋がった。
	(3) クリスマス会	1	0	12	10	1	0	0	0	0	0	0	0	23	申込制で参加者とクリスマス会実行委員の子どもたちとみんなあそびを楽しむ。 今年度は欠席者もなくみんな遊びを時間いっぱい楽しむことができた。次年度は室内ではなく公園でみんなあそびをすることも考えたい。
	(3) クリスマス会実行委員会	4	0	2	6	1	1	0	0	0	0	0	0	8	クリスマス会に向けて企画を考え、準備や司会の練習をする。クリスマス会当日は進行をする。 楽しい内容をたくさん考え参加者を楽しませることができ、子どもたちの自信につながった。次年度は公園でのみんなあそびも視野に入れて企画を立てたい。
	(3) 変身折り紙に挑戦しよう	1	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	夏休み期間中に実地。同じパーツの折り紙を折り、じゃばらになるようにのりを付けて繋げて完成させる。 自分自身で完成させた子どもが他の子どもに教えたことで自信に繋がった。同じことを繰り返すことで、上手く折れると考えていたが集中力が続かず時間がかかった。簡単な内容を今後は考えていく。
(4) 卓球クラブ	10	0	16	17	9	3	2	0	0	0	0	12	55	月に1回実施。地域の方に卓球を指導していただく。 地域の方の指導やアドバイスにより上達してきた。また、最終日はシニア卓球の方に来ていただき多世代交流の場となった。	
(4) なわとびクラブ	12	0	0	93	0	2	0	0	0	0	0	0	95	検定表を目標として、各自昇級を目指し、取組。 今年度は、始まる前と終わりに体操を子どもたちだけで自主的に取組めた。昇級を目指して頑張っていたが、ある程度達成すると難しくなり、やる気をなくすことが見受けられたため途中、大縄や走り縄跳びに取組んだ。最後に1年間達成した級の賞状授与をした。	

	活動名	実施回数	参加人数											内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア			合計				
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人					
子ども育成機能	基 (4) ペーパーアートクラブ	12	0	25	15	0	0	0	0	0	0	0	0	40	初回到紙を使った作成物を予め子どもたちに観て、何をしたいか相談をし年間の作品を考えた。	ペーパークラフトや切り絵などを楽しんだが、子どもたちが目ざす作品が高レベルのものもあり、悪戦苦闘して作成する姿も見受けられた。	
	本 (4) ハンドメイドクラブ	13	0	12	24	14	0	0	0	0	0	0	0	50	初回到メンバーでどんなことをしたいか話し合いを持ち、毎月の作品に取り組む。	ガーランド作りから始め、モビール、シュジュ、クリスマスツリー、などに挑戦した。完成に近づくにつれうれしさが増していた。作業に個人差があるため次年度は内容や進め方を考える。	
	活 (5) 中庭の畑づくり	3	0	0	11	0	8	0	2	0	0	0	3	24	例年どおり、職員が中庭に畑を耕す。5月に玉ねぎの収穫。6月にさつまいもの苗を植えて、10月に収穫。	今年度は、職員が畝作りをし、子どもたちには有志を募り、たまねぎやさつまいもの苗植え、水やり、収穫という栽培の喜びを体験することができた。少人数ではあったが、自主的に水やりができた。	
	動 (5) 科学実験会	4	0	30	28	4	0	0	2	0	19	0	83	京都薬科大学のボランティアサークルの学生が身近なもので出来る実験を企画して実施する。	1度参加し楽しかったということでレポートで毎回参加する子どもたちが増え不思議な実験の変化を学んだ。自由来館の子どもたちの申込が少ない為、次年度は定員の枠を増やす方向で考える。		
	(7) 中学生タイム	随時	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	10	17:00以降、遊戯室で卓球をしたり、おしゃべり、勉強、本読みなどをして過ごす。	学童クラブOBの中学生がお友達を連れて遊びに来てくれたことで児童館を知らなかった中学生に知ってもらえることができた。今後は行事にも繋げていきたい。	
	(10) やんちゃワールド 2024	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	山科区・醍醐の児童館が集まった祭りを、醍醐交流会館とバセオダイゴロー西館2階で開催。様々なあそびのコーナーを催す。	会場が交通の便が良く行きやすかった為、今年度は引率はしなかった。家族参加もたくさんありコーナーあそびを楽しんでいた。学童クラブの保護者にも周知ができた。
	合 計	89	2	104	574	34	48	12	4	0	23	15	1193				
子ども家庭支援活動	推 (9) エコキャップの回収	随時受付	0	0	0	0	5	0	12	0	0	0	17	ペットボトルキャップの回収を通して、子どもや地域の方がエコに取り組むきっかけとする。各家庭で集めてもらったペットボトルキャップを回収し、引き取りに来てもらう。	児童館がエコキャップの回収をすることにより子ども、保護者、地域の方にエコに対する関心を高めることができた。回収したエコキャップについては、子ども食堂に反映してできるよう業者の方に引取に来ていただいた。		
	合 計		0	0	0	0	5	0	12	0	0	0	17				
	子ども育成機能 合 計	89	2	104	574	34	53	12	16	0	23	15	1208				

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和6)年度 児童館事業年間活動報告書 (京都市百々)児童館

	活動名	実施回数	参 加 人 数											内 容	成 果 と 課 題
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア			合計		
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
子 ど も 基 本 家 庭 支 援 活 動	(1) うさねクラブ	35	35	0	0	0	0	0	32	0	0	0	67	登録制のクラブで、満1歳から入会できる。体操・お名前呼び・手遊び・読み聞かせと季節の行事や工作などの企画をメインとして取り組んでいる。	登録人数は少なかったが、保護者と話し合いながら、その子どもたちに寄り添いながら取組を行う事が出来た。電話での欠席連絡が負担になっていたため、さくらdaysを使用し保護者への負担を減らす。
	(1) げんきーズ	27	18	0	0	0	0	0	15	0	0	0	33	登録制のクラブで、満1歳から入会できる。おはようの挨拶・体操・お名前呼びのあと、すべり台、トランポリン、大型布製つきみき、ボールプールなどの大型遊具をつかって遊ぶ。最後はみんなでふれあいあそびをする。	登録がなかったが、月曜日に遊びに来た乳幼児を対象に実施。すべり台などで楽しく遊ぶ姿が見られた。来年度はトコトコと統合し、クラブではなく、広場としてどの年齢でも遊びに来れるように実施する。
	(1) トコトコ	35	45	1	0	0	0	2	37	0	0	0	85	登録制のクラブで、0歳から入会できる。おはようの挨拶・お名前呼びのあと乳幼児向けの遊具で自由に遊ぶ。最後にうたと読み聞かせをする。	自由に遊んだ後は、紙芝居や絵本の読み聞かせを行った。来年度は上記の通りげんきーズに統合する。
	(1) ②子育てほっと広場	61	106	1	0	0	0	4	83	0	0	0	194	乳幼児親子がいつでも遊べる場所を提供。	児童館開館中はいつでも来館し、遊ぶことができるので乳幼児親子に気軽に利用して頂けた。学区以外の方や久しぶりに来館された方もありに保護者の気分転換の場となった。
	(1) ②ほっとタイム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	平日の12時から1時間の間、昼食持参の上食べることができる。	ポスターやチラシ、口頭で広報し利用につなげていく。
	(1) 子育て講座「子どもの食について」	1	5	1	0	0	0	0	7	0	0	0	13	医師の羽山涼子氏を講師として招き、子どもの食について好き嫌いや食事が適切か等、乳幼児保護者や地域の方を対象に幼児食の時期を楽しく乗り切るコツを教えてもらう。	普段の食に対する悩みを保護者は講師に聞くことができ、一番大切なのは食を楽しむことが大事ということを学ぶことができた。安心されている保護者に姿があった。食に対する講座は需要があり今後継続して設定しても良い。
	(1) 子育て講座「子どもの姿勢+体軸体操」	1	3	0	0	0	0	0	5	0	0	0	8	医師の羽山涼子氏を講師として招き、体軸が整うことで姿勢がよくなり疲れにくさ、怪我の防止等、乳幼児保護者や地域の方を対象に講話や体軸体操を教えてもらう。	広報や周知が遅く、参加は少なかったが、参加者や民生児童委員さんに関心をもってもらうことができた。
	合 計		212	3	0	0	0	6	179	0	0	0	400		
(3) 子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容		件数	つ ないだ機 関等		件数		
	乳児 幼児	7	児童館にて直接受理 児童相談所 保健センター				109	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他		4	児童相談所 保健センター 子ども支援センター(子どもはぐくみ室) 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他				
	小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童)	105	子ども支援センター(子どもはぐくみ室) 主任児童委員 その他				1 1 1			109					
	中学生 高校生	1	小学校、保育園、幼稚園、こども園、中学校				1								
件数 計	113	-				113	-		113	-					
子 ど も 基 本 家 庭 支 援 活 動	(4) 子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容		成 果 と 課 題					
		活動名	実施回数	活 動 内 容						成 果 と 課 題					
	(5) 子育てと健全育成に関する啓発活動			「京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券」の引換				随時受付	ゴミ袋を交換に来られたら、ゴミ袋と児童館の情報紙を渡す。		引き換えに来られる人はまだ少ないので乳幼児親子の新規来館者に声かけをしていきたい。				

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

		活動名	実施回数	主催	参加人数							連携団体	成果と課題		
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人			合計	
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ						
地域福祉促進機能	(1)地域住民との交流を促進する活動	ブロックやんちゃワールド2024への参加	1	やんちゃワールド2024実行委員会	0	0	0	0	0	0	0	0	やんちゃワールド2024実行委員会	引率はせず、各自現地に遊びに来るように声をかけた。家族参加が見られた。	
		どどじどうかんこどもまつり	1	こどもまつり実行委員会	14	55	2	29	0	6	67	173	百々学区自治連合会 百々学区社会福祉協議会 百々民生児童委員協議会 百々地域女性会 山科少年補導委員会百々支部 百々小学校 山科中学校 百々小学校PTA運営委員会 百々学区おやじの会 百々児童館	雨天の為、館内で実施。室内でも飲食やあそびなど楽しんでいた。館内での実施になり受付が館外になっていたことで濡れてしまったり、スペースに限界があったため、役割の見直し。	
		子育て支援連絡会 子育て講座	2	百々児童館	7	1	0	0	0	0	0	13	21	・まんいんじこども園 ・百々学区民生児童委員協議会	羽山涼子氏を講師として招き、テーマを分け講演会をした。 次年度は余裕を持った周知をし、連携団体との関係性を密にしたい。
		シニア卓球デー	36	地域住民	0	0	0	0	0	0	141	141	地域住民	回覧板や掲示板を通し日程を把握し、楽しまれている。	
					0	0	0	0	0	0	0	0	0		
					0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		合計	40	—	21	56	2	29	0	6	221	335			
地域福祉促進機能	(2)ボランティア活動の推進	活動内容				活動人数				成果と課題					
						中学生	大学生	大人	合計						
		あそびのボランティア				0	4	0	4	京都橋大学の学生ボランティアに児童館の業務内容を知ってもらい、経験していただけた。参加できる日程の都合で、経験していただけなかったことも多くあったので、可能な限りいろんな経験を積んでいめるようスケジュールを組んでいきたい。					
		行事のボランティア				0	15	1	16	卓球クラブでは地域の方に行事ボランティアで来ていただき、子どもたちにご指導いただいた。					
		環境整備のボランティア				0	0	0	0	京都薬科大学の学生が科学実験を通して子どもたちと一緒に科学の楽しさや不思議を学んでいます。今後も継続していきたい。					
合計				0	25	1	26								
地域福祉促進機能	(3)地域との連携を促進する活動	連携団体等	連携内容							成果と課題					
		百々学区自治連合会理事会	理事の一員として、百々地域の諸行事や様々な地域の問題に取り組む。							・理事会に出席することで地域の抱える問題や成果がわかったり、他団体との交流によりお互いの団体を理解し協力体制を深めることができた。 ・児童館の事業や課題を分かってもらえる場になった。					
		まんいんじこども園	乳幼児行事、地域子育て支援ステーション事業などに協力いただく。							地域子育て支援ステーション事業でご協力いただき、地域の乳幼児親子との繋がりができた。					
		百々小学校	児童館だよりの全校配布、運動会・学習発表会・授業参観の見学・情報交換。							頻繁な情報交換や連携を密にすることができたが、学校行事に伴う児童館職員の引率などで、児童館側から確認することが増えた。					
		山階南小学校	毎月、児童館だよりを届けている。							学童クラブ利用児童がひとりだったため、懇談などは必要に応じてはなっていたが、学校の情報は、小学校から情報提供をいただいていた。					
		山科中学校	毎月、児童館だよりを届けている。							繋がりを作ることができている。今年度は児童館に来る中学生や1部の家庭状況の情報交換ができた。					
		山科区はぐくみ室	児童館だよりの配布、百々学区の乳幼児の情報交換・育児支援活動							初めて利用される方がはぐくみだよりの情報を見て足を運んでくれている。児童館利用につながった。					
		学区社協	毎月、児童館だよりを届けている。乳幼児向け事業に協力いただく。												
		百々小学校PTA運営委員会	百々児童館こどもまつり当日の運営に協力いただく。							まつり等児童館行事に協力いただく事で、連携を深めることが出来た。					
		山科少年補導委員会百々支部	百々児童館こどもまつり当日の運営に協力いただく。												
		百々地域女性会	百々児童館こどもまつり当日の運営に協力いただく。												
		百々学区老人クラブ連合会	百々児童館こどもまつり当日の運営に協力いただく。												
		百々民生児童委員協議会	乳幼児行事、百々児童館こどもまつりなどに協力いただく。							まつり等児童館事業に協力いただく事で連携を深める事ができた。子育てサロンでは、遊具の貸し出しやサロンの見守りができ、地域の参加者や民生児童委員協議会の方と交流ができた。					
百々学区社会福祉協議会	乳幼児事業の後援、百々児童館こどもまつり当日の運営に協力いただく。							まつりの会議を開くことで連携を深めることができた。							

地域福祉促進	基本活動	(4)児童館を支える地域組織作り	組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題	
			百々児童館運営協力会	百々学区自治連合会 百々学区社会福祉協議会 百々民生児童委員協議会 百々地域女性会 山科少年補導委員会百々支部 老人クラブ連合会 百々小学校PTA運営委員会 百々小学校 山科中学校 百々児童館	年2回	第1回運営協力会 ・自己紹介 ・まつりの確認 第2回運営協力会 ・まつりアンケート結果の報告	まつりの内容を確認し、地域との連携を図った。	
			どじどうかんこどもまつり実行委員会	百々学区自治連合会 百々学区社会福祉協議会 百々民生児童委員協議会 百々地域女性会 山科少年補導委員会百々支部 百々小学校PTA運営委員会 西野山花山町内会 百々学区おやじの会 百々児童館	年1回	・各機関の情報交換 ・地域の子どもについて ・こどもまつりの詳細説明	当日の動きや、何を実施するかより詳細に伝えることで連携、協力体制を深めることができた。	
	百々学区子育て支援連絡会	百々学区自治連合会 百々学区社会福祉協議会 百々民生児童委員協議会 山科少年補導委員会百々支部 京都市立百々小学校 まんいんじこども園 百々児童館	年2回	・各団体・施設の活動報告・共有 ・子育て講座の内容について	3月に子育て講座を行い、子育てに悩む母にとって良い反響があった。またまんいんじこども園、民生の方々にも参加してもらい学びの場となった。広報が遅れたため、広く周知できなかったことが課題。			
	(5)地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)	成果と課題	
		水道の使用		地蔵盆		花山稲荷町内会	円滑な関係作りの一端を担っている。	
	(6)地域調査活動	推進活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題
			幼児クラブアンケート	意見を次回の計画に生かすことが目的	クラブ登録の保護者	百々児童館	アンケート用紙の配布・回収	次年度の幼児クラブのプログラムに反映する。
			子育てサロンアンケート		乳幼児親子の参加者	百々児童館	アンケート用紙の配布・回収	保護者のニーズが分かりよかった。
			児童館利用者共通アンケート		児童クラブ児童と保護者 児童館の利用者	京都市社会福祉協議会	アンケート用紙の配布・回収	児童館利用者のニーズを理解し、次年度に反映する。
百々児童館アンケート			児童クラブ保護者		百々児童館	さくらdaysによるアンケート配信・回収	児童クラブ運営による、利用者の方の思いが分かり、早急に対応することができた。今後も反映する。	
どじどうかんこどもまつりアンケート			要員である児童クラブ保護者・地域の諸団体・どじどうかんこどもまつり参加者		百々児童館	アンケート用紙の配布・回収	参加者のニーズを把握し、次年度のプログラムに反映する。	
児童館利用者共通アンケート	児童館利用者	京都市社会福祉協議会	アンケート用紙の配布・回収		児童館利用者のニーズを理解し、次年度に反映する。			

(令和6)年度

児童館事業年間活動報告書

(京都市百々)児童館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
報	児童館だより	月1回	百々小学校、百々学区町内会、民生児童委員、山階南小学校、まんいんじこども園、京都市鏡山保育所、西野山保育園、なかとみこども園、柳辻こども園、東山幼稚園、はぐくみ室	百々小学校は全児童配布。山階南小学校は校長先生に配布。各町内会は地域回覧。まんいんじこども園、京都市鏡山保育所、西野山保育園、なかとみこども園、柳辻こども園、東山幼稚園、はぐくみ室に直接配布。HPにて広報。	館行事、前月の活動報告等掲載	年間を通して、地域回覧や新規来館につながった。また、おたよりやホームページを見て、児童館事業への自由来館児童の参加を増やすことができた。
	児童館だより（乳幼児版）	月1回	百々学区町内会、民生児童委員、まんいんじこども園、京都市鏡山保育所、西野山保育園、柳辻こども園、なかとみこども園、東山幼稚園、はぐくみ室	各町内会は地域回覧。まんいんじこども園、京都市鏡山保育所、西野山保育園、なかとみこども園、柳辻こども園、東山幼稚園、はぐくみ室に直接配布。HPにて広報。	乳幼児向けの行事、前月の活動報告等掲載	年間を通して、地域回覧やはぐくみ室、ホームページなどの広報により、来館のきっかけになった。
	行事のポスター	随時	児童館の利用者	児童館に掲示。	館行事・子育て情報の掲載。	児童館に掲示することにより日頃の利用者に参加を促すことができた。
	乳幼児クラブ・ひろばの案内	随時	乳幼児の保護者	乳幼児の保護者に配布。館前の掲示板に掲示	幼児クラブ・乳幼児ひろばの情報の掲載。	幼児クラブ・乳幼児ひろばへの問い合わせもあり、新規来館に繋がった。
	ホームページ	随時	児童館の利用者	ホームページに掲載	乳幼児親子向けや小学生向けの行事や、おたよりの掲載。	普段児童館に来館できない人でも気軽に携帯で確認することができ、来館につながった。
活						
動						